



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究をつなぐメディアとしての機関リポジトリ : 大学院生の研究生活 / 地域連携 / キャリア構築に果たす役割に着目して
Author(s)	岡本, 健
Description	情報処理学会シンポジウムシリーズ. 人文科学とコンピュータシンポジウム じんもんこん2012. シンポジウムテーマ「つながるデジタルアーカイブ - 分野・組織・地域を越えて」 2012年11月17日-18日. 北海道大学
Relation	情報処理学会シンポジウムシリーズ. 人文科学とコンピュータシンポジウム. じんもんこん2012. 2012年11月17日-18日. 北海道大学
Issue Date	2012-11-17
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/50591
Type	conference presentation
File Information	20121116jinmoncom.pdf



研究をつなぐメディア

としての機関リポジトリ

—大学院生の
研究生活／地域連携／キャリア構築
に果たす役割に着目して

2012年11月17日(土)
情報処理学会
じんもんこん2012
(於:北海道大学)

京都文教大学
総合社会学部
文化人類学科 特任講師
岡本健
t-okamoto@po.kbu.ac.jp

- 1983年 奈良県奈良市に産まれる。
- 2003年 北海道大学 文学部(専門: 認知心理学)
- 2007年 国際広報メディア・観光学院 修士課程
- 2009年 修了(修士: 観光学)
- 2009年 同博士課程進学
- 2012年 修了(博士: 観光学)
- 2012年4月より

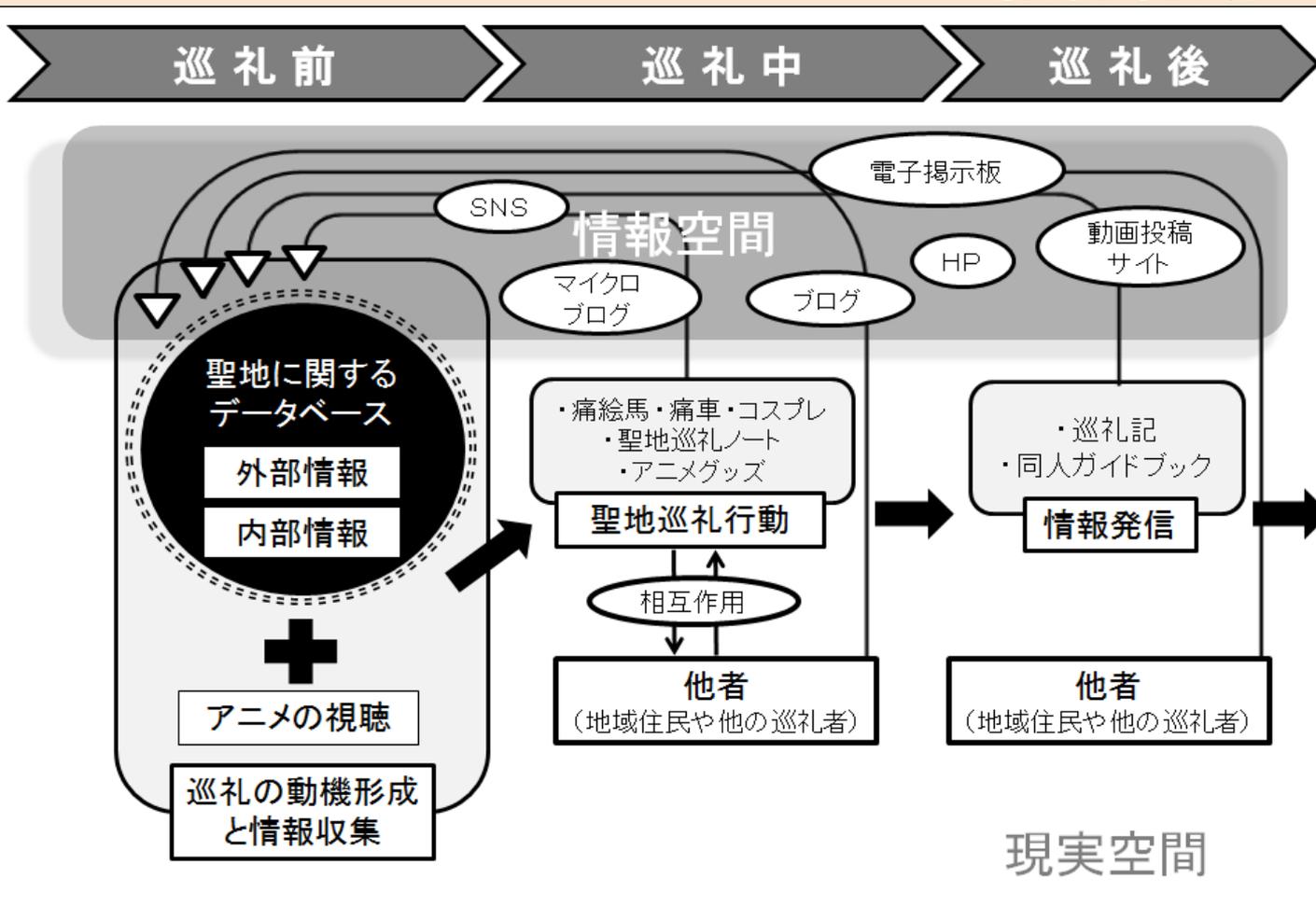
京都文教大学 総合社会学部 文化人類学科
特任講師



鷲宮神社
(埼玉県久喜市鷲宮)

・アニメの聖地巡礼を研究

① 旅行者が観光情報を構築し、それによって旅行行動がおこなわれる。



詳細については。
以下の文献を参照

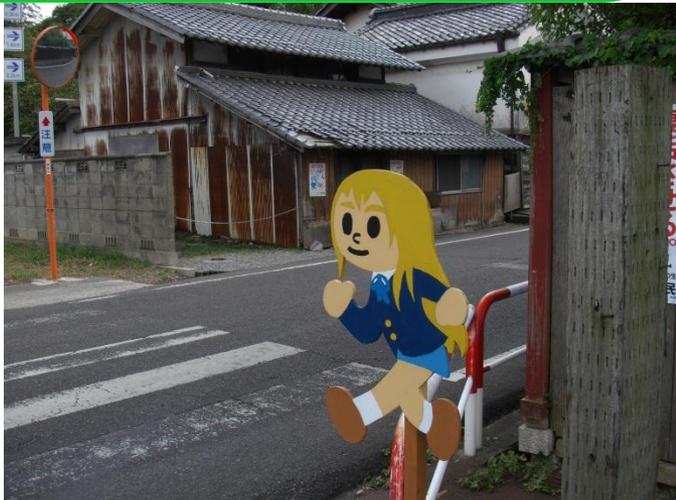
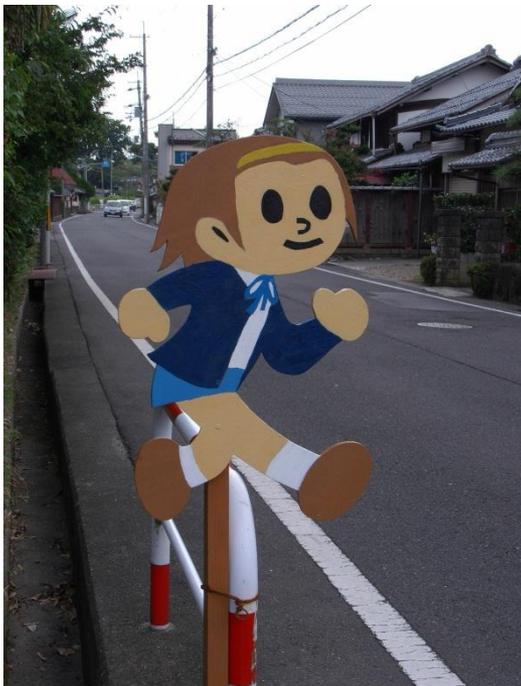
岡本健(2010)
「コンテンツ・イン
デュースト・ツーリ
ズム —コンテンツ
から考える情報社
会の旅行行動」『コ
ンテンツ文化史研
究』, 3, pp.48-68
<http://hdl.handle.net/2115/43181>

観光文化の諸相



鷺宮町・土師祭

観光文化の諸相



豊郷町・飛び出し坊や



豊郷町・飛び出し女子高生
(けいおん！キャラ)

中二病でも研究がしたい

研究紹介

・アニメの聖地巡礼を研究

② 旅行者と地域住民が偶然に出会い、つながり、
共同で観光文化を構築する

現実空間の
個人

現実空間の
個人

現実空間の
個人

情報空間上の
コミュニティインタレスト

現実空間の
個人

現実空間の
個人

現実空間の
個人

オフ会

聖地巡礼

場所は
どこでも良い

現実空間上の「場所」
地域コミュニティとの相互作用

詳細は、
以下の文献を参照

岡本健(2012)
「観光・地域デザイン
2.0と観光情報学：ア
ニメ聖地巡礼から観
光の新たなあり方を
考える」

『観光と情報』

8、(1)pp.15-26

<http://hdl.handle.net/2115/50435>

中二病でも研究がしたい

研究紹介

・アニメの聖地巡礼を研究

年末に『n次創作観光

ーアニメ聖地巡礼／コンテンツツーリズム／観光社会学の可能性』
北海道冒険芸術出版、を出版予定

・ゾンビ映画と観光について考えたい

- ・2012年12月8日コンテンツ文化史学会(@明治大学)にて、「ゾンビ映画の観光社会学」を発表。
- ・すでに、「ツアー・オブ・ザ・リビングデッド」を執筆。
年末にHUSCAPで公開予定。

▪ HUSCAP

(北海道大学学術成果コレクション)

2005年にサービス開始

- 2008年4月ごろから、アニメ聖地巡礼研究を始める
- 2008年9月に研究ノートを発表

アニメ聖地における巡礼者の動向把握方法の検討：聖地巡礼ノート分析の有効性と課題について

2105

岡本, 健

2008/9/22

観光創造研究 = Advanced Tourism Studies. 2, 2008, 1-13

僕と契約してHUSCAPに論文を投稿してよ

投稿を促される



薄い本だけど文章であれば関係ないよね

HUSCAPに何を掲載しているか

論文

ポスター発表の
ポスター

学会発表や
講演のスライド

研究ノート

報告書

学会発表の
要旨

同人誌

コラム

兄目見太郎

ヲタとマニアと閲覧数

修士論文が一般の方に

- ・2009年3月に、修士論文を執筆。

情報化社会における自律的観光のあり方に関する研究：アニメ聖地巡礼者の旅行行動の特質とその課題	1502
岡本, 健	2009/4/15
修士論文, 2009	

- ・学生さんをはじめとして、研究者、アニメファンや地域の方々に

たくさん閲覧していただけた。

- ・2ちゃんねるで大いに叩いていただきました・・・

俺の論文がこんなに見られているはずがない

HUSCAPの発信力

・2011年にウェブジャーナル

『コンテンツツーリズム研究』を発行。

その1号として「コンテンツツーリズム研究序説」

コンテンツツーリズム研究序説 ―情報社会における観光の新たなあり方とその研究概念の構築	1666
岡本, 健	2011/1/19
コンテンツツーリズム研究 = Web-Journal of Contents Tourism Studies. 001, 2011, 1-10	

・ウェブジャーナルに投稿し、それがHUSCAPに登録されていくことで、広く見てもらえる。

・最近では、ブログ、twitterなどでも宣伝

あの日使った果実の名前を
僕達はよく知っている。

① 学外への発信力

- 1. 研究者
- 2. 学生
- 3. 一般市民
- 4. アニメファン

② 学内への発信力

あの日使った果実の名前を
僕達はよく知っている。

① 学外への発信力

1. 研究者

研究会、学会、書籍等、
発表機会をいただける。

怒られる。

研究対象になる。

存在感が示せる



仕事のご依頼

あの日使った果実の名前を
僕達はよく知っている。

① 学外への発信力

2. 学生

同じ分野の学生との交流
違う分野の学生との交流

情報交換



ピアなつながり

あの日使った果実の名前を
僕達はよく知っている。

① 学外への発信力

3. 一般市民

調査地域への還元

講演や取材の依頼が来る

次の調査につながる

外とのつながり



地域連携

あの日使った果実の名前を
僕達はよく知っている。

① 学外への発信力

4. ファン

2ちゃんねる炎上

学生さんが関心を持つ

モチベーションが
上がる

あの日使った果実の名前を
僕達はよく知っている。

② 学内への発信力

- ・「高頻度利用アイテム」(ランキング)に掲載
- ・学内で普段接しない先生方に見てもらえる

① 研究生活

→研究、発表、評価のサイクルがまわり、
モチベーションが**つながる**

② 地域連携

→成果を社会に還元、ニーズがつかめ、
地域と**つながる**

③ キャリア構築

→博士号を得た後の就職や
研究展開の**チャンスにつながる**

御清聴ありがとうございました